



なかのdeかいごタイムズ

Vol.02 第1回介護支援専門員研修 「セルフ・ネグレクトのケア」

第2回介護サービス事業所研修を開催!

8月17日に中野区介護サービス事業所研修の第2回目が開催されました。

今回は主任ケアマネジャーの更新研修も兼ねていたこともあり、お盆時期にもかかわらず135名という多くの方にご参加いただいております。

「セルフ・ネグレクトのケア」をテーマに、支援のヒントをお伝えしてまいりました。現在進行形でこの課題に取り組まれている方も少なくないようで、真剣に耳を傾けられている姿が見られました。本研修で支援のヒントが提供できたのではないかと思っています。ご参加された皆様、お疲れ様でした。

3回目以降もご参加お待ちしております。

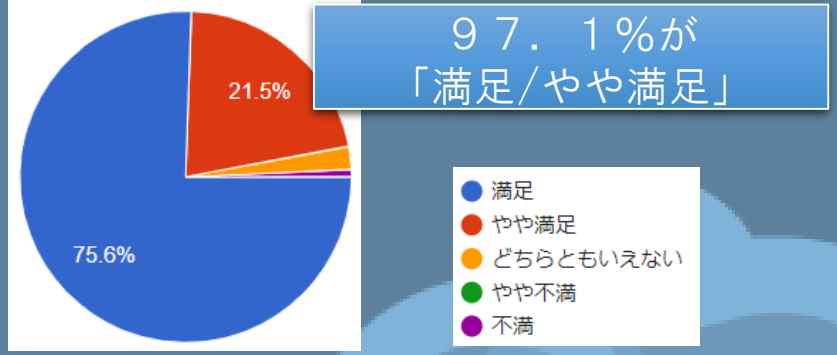
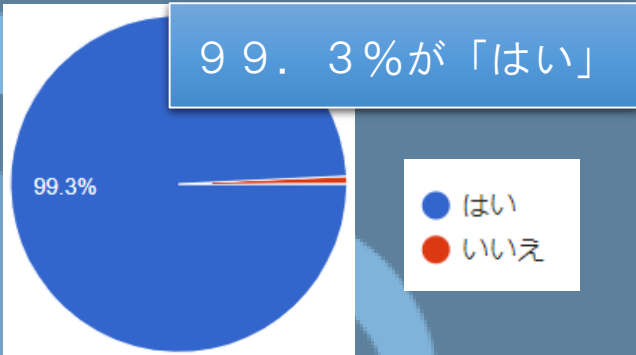
<研修資料抜粋>

研修資料抜粋の概要:

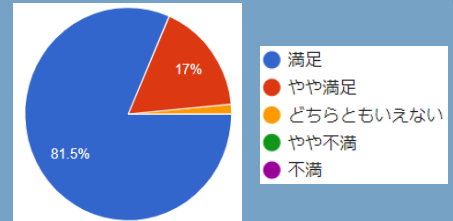
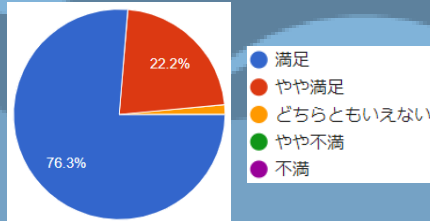
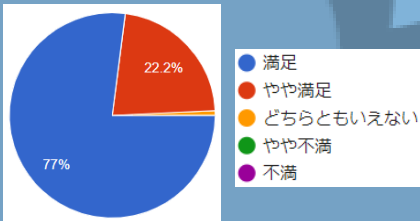
- 「セルフ・ネグレクトの状態とは」: 不潔で悪臭のある身体、不衛生な住環境、不適当な食料・財産管理、奇異にみえる生活状況、生命を脅かす治療やケアの放置、ごみ屋敷は一種型、不慮な死のリスク。
- 「セルフ・ネグレクトのアセスメントツールを活用してください」: 表1. サインシート、表2. スクリーニング6項目、表3. アセスメントシート、表4. 深刻度アセスメントシート、表5. 近隣への影響アセスメントシート。
- 「アウトリーチ」と「居場所づくり」を組み合わせて、予防を含めた支援のしくみをつくる: 発見、気づく、見つける、気をつける、つながる、見守る、寄り添う、居場所、訪問、支援。

研修後アンケート結果（参加者135名）

・研修の内容は業務に活かせるものでしたか？ ・研修の満足度を教えてください



・研修内容：99.2%が「満足/やや満足」 ・研修資料：98.5%が「満足/やや満足」 ・講師：98.5%が「満足/やや満足」



アンケート回答より、ご受講いただいた方々のご意見を紹介します！

Q.研修を受けて今後取り組んでいきたいこと

- ・アセスメントツールは今取り組んでいるケースに有効だと思いますので活用します。
- ・「大丈夫です」は拒否のあらわれ、を意識し、関係性を気づいていく。
- ・ゴミ屋敷など「片付けましょう」などの直接的な言い方を避け、ご本人の興味を一旦別に持っていき手法は試してみようとおもっています。
- ・チームで支援していくということの大切さを改めて感じました。